

お届けできる博物館「トランクキット」

貞國 利夫*

当館では、2015年度から釧路の自然と歴史について手軽に学ぶことが出来る「トランクキット」の制作を進め、2016年の春から貸出を開始しています。

トランクキットとは、手軽に実物標本・資料に触れられるパッケージ型の資料のことで、博物館学芸員の知識とこれまでの資料の蓄積を生かし、歴史、石炭、昆虫、植物、魚類・両生類、鳥類の6分野(各1セット)を制作しました。触れると壊れやすい自然系資料は「樹脂封入標本」として透明な樹脂に封入(閉じ込める)することで、だれでも気軽に手にすることができ、あらゆる角度で実物の標本をじっくりと観察できます。

貸出対象は、学校・生涯学習グループ・観光施設等で、貸出地域は、市内外問わず全国どこでも可能です。特に、小・中学校の理科や社会、総合的な学習の時間等での利用がしやすいよう、活用プログラムも制作しました。

また、トランクキットのケースには「木づなプロジェクト」(釧路森林資源活用円卓会議による)の活動に賛同の意を込め、釧路市音別産カラマツを使用しました。当館主催「現場で学ぶ林業基礎講座」をはじめ、これまでも当館へ協力をいただいている「音別林産振興会」に地元材の使用について相談、製作は「くしろ西森林組合」へ依頼し、関係各位の全面的なバックアップと木工職人のこだわりも随所に見られる、丈夫でアピール度も高いケースに仕上がりました。

ケースの中身を簡単に紹介します。歴史分野は「昔の暮らしを知る」というテーマを中心に、大正から昭和初期によく使われていた角巻や二重回し、北国ならではの雪下駄、燭台が入っています。石炭分野は実際に炭鉱労働者が使用していたヘルメットやブーツ、また実物の石炭や植物化石(この化石から石炭へ変化していくため)も入っています。

昆虫分野は小学校理科で学ぶキアゲハ成虫のオ

スメスがあり、卵から成虫になるまでの過程も学べるようになっていきます。スズメバチの巣もあり、丸ごと樹脂でコーティングしてあるため、子どもたちに興味を持ちやすい工夫もしてあります。植物分野は花のつくりを学びやすいようオオバナノエンレイソウがあります。また同じ植物の実と種を見せて種類による実と種の違い、その繁殖戦略まで学ぶことができます。魚類・両生類は釧路地方に生息するものを封入しており、特にキタサンショウウオは釧路ならではの生き物で子どもたちに人気です。鳥類は様々な野鳥の頭骨を封入し、食べる餌によってクチバシの形が違うことを学べます。

このように、どの分野もテーマがありそれに沿って学ぶことも出来ますし、利用者のアイデア次第で様々な使い方が可能です。

2017年1月現在の貸し出し数は20件程度と、それほど多くは無いかもかもしれませんが、小中学校以外にこちらが想定していない面白い活用をする方もいます。例えば、幼稚園児が絵を描く際の見本として魚・両生類のキットを借りたいという方、夏休みの英語学習の際に小学生へ実物の昆虫を見せながら学ばせたいという方など。こちらもわくわくするような使い方をしていました。

今後も利用の促進をしつつ、トランクキットの中身も充実していきたいと思っています。貸し出し方法など、詳しくは当館のHPもぜひご覧ください。



トランクキット